

第1回三木市商店振興協議会議事録

- 1 日時・場所 平成25年7月17日(水) 午後6時～午後8時
市庁舎4階 特別会議室
- 2 出席者 <委員9名>
平山委員、蔵迫委員、松井委員、山田委員、大下委員、岩谷委員、三村委員、津田委員、青野委員
- <幹事2名>
河合幹事、西原幹事
- <事務局6名>
永尾産業環境部長、藤原商工課長、成瀬商工課主査、小山商工課主査

3. 会議の概要

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 副市長あいさつ
4. 委員自己紹介 事務局自己紹介
5. 正副会長選出 平山氏を会長に、蔵迫氏を副会長に選出
6. 正副会長あいさつ
7. 諮問
8. 議事
 - (1) 三木市の商店振興策について
 - (2) その他
9. 閉会

4. 主な意見の要旨

会長	三木市商店街連合会の現状を説明します。昭和60年代、三木市に12の商店街の350店舗が三木市商店街連合会に加盟をしていました。約30年たった現在、商店街が5つに減少し、会員数は183店に減少しています。5つの商店街に加盟している会員が110店前後で、残りの80件が個店として加盟しています。大型店では、イオンやジャスコ、コープこうべなど大型店で入られているところと、ナショナルチェーンでなかなか本部の許可が出なくて入っていないところもあるという現状です。なかなかそれ以外エリアのところ加入しきれないという現状があるのですが、業態としては変わってきています。いわゆる物販的なものからサービス業的なものが増えてきている現状です。具体的には、昔あった小売店の服屋さんから、物販でな
----	---

事務局	<p>い美容院やカラオケという小売店に変わってきています。</p> <p>配布資料により中小企業振興条例の説明</p> <p>基本的に三木市は3つの審議会を持っています。1つが金物振興審議会これは金物の進行をはかるための施策を考える審議会です。次に商店の審議会、商店の活性化を考えていただく協議会です。もう1つが、観光懇話会で、観光の施策を考えていただくものです。これを3つの柱としながら、それぞれの施策を考えていただくこととなります。三木市の中で金物も商店も観光業界も含めて、中小企業全体の活性化策を考えていただくということで、中小企業振興条例をつくりました。中小企業審議会は神戸大学、県立大学、兵教大のような大学の先生方や、三井住友銀行、古野電気、極東開発、コープこうべのような三木にある大企業などにメンバーになっていただき三木市全体の中小企業の活性化策を考えていただいております。あとの3つの会については、それぞれに特化した格好で、施策を考えていただくということです。もう一つ農業の振興審議会もあるのですが、4つの委員会と全体を統括する中小企業というかたちで考えているところです。中小企業審議会では市全体での大きな話を議論していただいておりますので、この商店の振興審議会については商店の活性化策について議論をしていただければと思っています。</p>
会長	<p>中小企業振興条例は産業全体のものですが、商業の活性化に特化した条例等を提案するのも皆さんの意見があれば可能だと考えます。三木では商業に特化した条例はあまり見当たらないような現状があります。商業団体になかなか入っていただけられないため、<u>加入に対しての促進、協力の努力義務が状況によっては必要ではないか</u>と思います。各地できつつあると聞いています。今から資料も含めてみなさんの意見を聞きたいと思います。</p>
委員	<p>三木の活性化にはナメラ商店街をなんとかしないといけないと思います。上の丸が整備されましたが、観光客来ても商店街が開いていないとお金を使ってももらえない。一番良いのは、<u>金物まつりをナメラ商店街ですること</u>です。ただ三木市で空いている店を貸してくれる人が何人いるのかです。調査されるのでしょうか。</p>
会長	<p>違う事業ですが、調査しています。シャッターは閉まっているのですが住居で、商店街の中に家が建っている状況です。</p>
委員	<p>出て行ってもらって、商店街にするのは。</p>
会長	<p>東京では商店街のエリアは住居にできない条例があります。一番の問題は、<u>貸店舗にするときに2階に住んでいる人の入り口が一緒で、1階を貸そうと思った時に階段を設置し、出入り口を別に分ける費用</u></p>

委員	<p>を誰が持つのか。なかなか市では、そのような補助金は難しいと聞いたのですが。</p> <p>昨年<u>の金物まつり</u>では、人がほとんど歩いていませんでした。大きなイベントは<u>ふつう金、土、日曜日</u>の3日間やりますが、<u>金物まつり</u>は2日間です。駐車場の関係で2日間しかできないと思いましたが、もう水曜日くらいから準備ができていますので、<u>金、土、日曜日</u>の3日間で開催できるのではないのでしょうか。</p>
会長	それは、道路の使用許可の問題ですか。
事務局	開催は可能ですが、実行委員会の中で決定する必要があります。
委員	2日間で開催するのは非常にもったいないと思います。また <u>神戸電鉄に乗ってもらうために道路は歩行者専用</u> にして、なるべく電車でもらうようにするほうがいいのではないのでしょうか。
会長	ナメラ商店街も、本当は車が通ってはいけないらしいです。ただ、駐車場があるので、その方への特例ですね。
委員	空き店舗を貸してくれるか、調査はしていないのですか。
会長	空き店舗対策の調査はしています。ナメラ商店街は貸せる店舗がほとんどありません。空き家ばかりだといろいろ施策は変わってくると思いますが、商売は辞めているが、家として機能しています。
委員	ナメラ商店街はいるのかどうかという点から考えた方が良いと思います。三木の商業のエリアは行政が後で考えたものです。本来は商業施設をここに作るから住宅はここにすると考えるべきです。ナメラ商店街は逆に自然発生的にできたと思います。だからその必要性を考えて残すのであれば、 <u>住んでいる方はナメラ商店街のすぐそばにマンションたてて住んでもらう</u> 。そうすれば、ナメラ商店街の店舗を貸してもらうこともできますが。
委員	ナメラ商店街は魅力的なところだと思います。観光客にお金を落してもらって施設を並べないと、今の地域に住んでいる方の買い物のお店を持って行っても当然だめだと思います。官兵衛さんのドラマの関係で三木城跡を訪れた人に、いかにお金を使っていたかというエリアに早く育てないと、このチャンスを逃したら二度とだめだと思います。レトロ路というイベントのためだけに、古い商店街を残しているのは非常にもったいないです。 <u>観光客をあそこへできるだけ引っ張って行くかたちで何か商店街を考えた方がいいのでは</u> と思います。そう

<p>会長</p>	<p>すれば、少し他の商店街とは施策が変わるのではないかと思います。</p> <p>レトロ路も市外から人が来て、<u>昭和レトロで活用できる素材</u>であると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>もう少し、人を集めるきっかけをつくらないといけません。篠山市では、秋にみんな黒豆を持って歩く。これは三木市でも出来るわけだから、秋の収穫祭みたいなイベントを創出しないとじっとしていても何もできません。一回固定してしまったら、毎年この時期はこれだというのがあります。それを三木市のホームページで全国に公開するのも効果的だと思います。三木に来ていない人に、わかってもらわなければいけません。三木の<u>大宮まつり</u>は素晴らしいと思いますがやはり<u>宣伝効果がない</u>のでしょうか。<u>三木市のホームページに動画で流して、ユーチューブに投稿すればいい</u>と思います。他人の力を借りて、なるべく金をかけない方法で。</p>
<p>会長</p>	<p>ナメラ商店街では、<u>金物メーカー</u>などが起爆剤として、いろいろしようとしているのですが、それと同時に<u>住民の盛り上がり</u>をもう少し考えないと難しいみたいです。地元の方がそういう気にならないとだめなので、そういう気持ちになってもらう方法がなにかあればと思うのですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>以前に兵庫県が行った<u>ディステーション</u>キャンペーンで、ナメラ商店街でもイベントを行いました。その時にナメラ商店街の方が、こんなにたくさんの方が来たのは何年ぶりだろうと言っていました。期間も限定されていて終わってしまうと今みたいになってしまいました。だから1回や2回のイベントでは、どうにもならないのかなと思います。やはりそこに、<u>魅力のあるものを売っている</u>など条件が揃わないと、なかなか人は来ません。ただ、先ほど言われたように、最後のチャンスかもしれません。地元の方でやろうという人が何人か揃わなければ続かない。</p>
<p>委員</p>	<p>私の商店街でも結構活発にしていたのですが、<u>高齢化</u>とともに<u>だんだん力がなくな</u>っていきました。リーダーがいなくて、または待っていても出てこない。そうすると市で、<u>ある程度プラン付け</u>をしてやらないといけません。</p>
<p>委員</p>	<p>今更何を言っているのかというのもあるのではないのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>店に愛着があるので、自分がするのではなく誰かが店を開けてくれてお客さんが通ってくれて、喜んでくれるならそれはそれでいいと言ってくれる人もいます。</p>

委員	<p>でも、それは<u>調査をした方がいい</u>ですね。意見を調査しないと進みません。金物まつりで店を出せばいいと思います。</p>
委員	<p>小野市の商店街も同じ状態です。小野市は若い方がオノセンスで、4月から2週間に1回ミーティングしています。やはり<u>若い方の力</u>でナメラ商店街の活性化について考えてもらう。ボランティア的なもので、大学生や新卒してすぐの方、20歳代の方を中心に、<u>どんどん意見を出していただくようなプロジェクト</u>があれば良いと思います。小野市では、商工会議所の方が商店街で半年くらい使えるお金を引っ張って、8月に小野高校が小野商店街のお店を借りるなどチャレンジをされているみたいです。</p>
会長	<p>小野もアーケード街があったのですが、ナメラのように住居が入ってしまっていて、営業している店が少なくなっています。新しい方が入ってアンテナショップを営業していると聞いています。アーケードも古くなっていたのですが、2kmを600万円で取り払い、市の補助で道路を直すそうです。各地で今、アーケードをとって青空へという商店街が増えています。ナメラもこのような意識の向上があれば良いと思います。先ほど話がありましたように大河ドラマ効果で、間違いなく人は来ると思います。ナメラ商店街にお土産が期間限定でも売れるようなお店や地場産業の金物が買えるようなお店があると三木をアピールできるのではと思います。<u>店と住居の入り口が別で貸してくれるようなところを調査してもらえれば</u>と思います。ナメラ商店街以外ではどうでしょう。</p>
委員	<p>緑が丘で地域コミュニティという場所をつくれないうことと空き店舗を使って考えています。<u>町中公民館</u>というようなものです。今、公民館はまちのはずれにあるが、場所的には防火対策としてはいいのですが、やはり商店街にもそういう場所があるべきだと思います。コープの辺りが中心なので、近辺に公民館的なものがあれば、<u>買い物以外の目的で来て、買い物して帰る</u>というのもできるのではないかと思います。</p> <p>もう一点は高齢化で、緑が丘は三木で40%を超えている一番高齢化が進んでいるまちです。<u>売れるものが変わってくる</u>。子供服が売れないなど店が減っていくと余計に高齢化が進んでいくことになりま す。逆に言うと、もう少し思い切って少子化にならないように子供を引っ張って来ないといけません。</p> <p>さらに、商売も生き物ですから、年をとってくると面白くなくなってくる。<u>入れ替えを上手にする</u>。店を閉めて住居にするのではなくて、そこを貸して、違うところを住居にする。残す価値のあるところでは、そんな施策があればいいと思います。</p>

委員	結局は目先のことと長期的なことを両方バランスよく考えていかなければならないということですね。
委員	昭和49年当時、緑が丘小学校は生徒数が1,800人いましたが、今は、300人くらいです。子どもがいるのといないのとでは、親の世代の買い物の仕方も違うので、やはり子供がいるまちが良いと思います。
委員	三樹小学校の私の時は12クラスくらいありました。いまは2クラスくらいです。
会長	自由が丘など一部を除いてほとんどの学校が2クラスです。
委員	空き家も多いです。
委員	難波の古いビルの家賃を下げると若い者がバーなどをして流行っているらしいです。
委員	アメリカ村も売れない場所でしたが、家賃を下げたらにぎやかになりました。
委員	やはり家賃を下げると原価が少なくなるので楽ですよ。
会長	ただ家賃を下げると、貸す人にとっては生活できなくなります。ある程度バランスも必要ですよ。貸したお金で家くらい借りられるくらいでないとなかなか貸す気にならないかなと思います。
委員	他にビルを持っていて、老朽化しているから安くても採算に合うという考えでしょうね。
会長	吉川は商店街がないのですが、商店の方はどうですか。
委員	吉川町商工会は、会員数が約230人で年々減っています。倒産ではなく廃業で、後継者がいなくてどんどん減っているのが現状です。小さな商店街はあったのですが、住居になってきているのが大半でもう一度復活するのは難しい気がします。イベントなど一時的なことは出来るかもしれませんが、長期的には難しいと思います。車社会ですので、若い人は三田へ買い物に行ってしまうというようなことで難しい状況です。
会長	商店街に家が入りだすと、なかなか難しいと思います。強制的に出

委員	<p>て行けというのは難しいですが、店を貸せて、近くに住むところがあると一番良いと思います。</p> <p>後継者がいないということは、結局は儲けがない場合が多いです。十分生活できて、やりたい人に貸してやっていけるのであれば続くと思うのですが。</p>
会長	<p>そういう仕組がうまく進めばよいがなかなか貸してもらえない。市の方では、どのように分析しているのですか。店舗付き住宅に住むけど貸さないというのは多いですね。ナメラだけでなく、緑が丘でもシャッターも閉まっているが貸さないというのが何件かあります。</p> <p>それは、単にお金が余っているという理由では片付けられないですね。</p> <p>あとは住居付きで2階に住んでいて、シャッターは閉まっているが玄関を裏に付けるのに費用がかかるので貸せないというのは聞いたことがあります。</p>
委員	<p>いま飲食店では居抜き物件があります。設備込みで同じ業者の人にやりませんかというのならメリットがあるのではと思います。</p>
事務局	<p>緑が丘の場合、戸建て住宅団地として開発していますので、都市計画の関係で緑が丘の商店街のエリアだけが商業地域に指定されています。少し外れたら住宅団地なので、今の商店街で少し高い商店をつくるというのができません。まちづくりビジョン委員会が、緑が丘全体をどのようにしたらよいか見直しも含めて議論をしています。商業地域を少し広げられるならば、商店街の改装もすごくやりやすくなるのですが、今の状態のままでは戸建住宅の北側斜線などの関係でさわれないのが実態です。</p>
会長	<p>緑が丘は高齢化率が三木市の中で高い。一斉に開発された団地なので同世代の方が一斉に入ってそのまま年齢がいき、お子さんたちが就職の関係で出られたまま老夫婦が残っているという現状です。相続した人が売ったりして新しい方が入ってきたりなど徐々には変わっていると思うが、現状だけ見ると、高齢化率が上がり子どもが少ない。</p>
事務局	<p>本当のところは、思い切った案を皆さんに提案いただきたい。思い切った手を打たないと、解決できないのではと思っています。</p>
副会長	<p>都市計画をどうするかの線引きは大事なことです。緑が丘では、近隣商業地域が駅前に少しあったと思いますが、大和やサンロードは第2種住居地域で建物が10メートル以上建てられないという状況です。駅からコープまでの間は商店街としての形はできているが、空き</p>

	<p>店舗のなかに住宅として住まれるとどうしようもありません。そこに住んでしまうと出て行ってくれとなかなか言いにくいです。<u>空き店舗の期間をいかに短くするのか、正式に新しく入られるまでの間を、何かもっと色んな人が利用できるようなかたちがとれないでしょうか。</u>例えば、青山や緑が丘の公民館の利用率はすごく高く、ダンス教室や手芸などいろんなことを公民館でされています。そのようなことを<u>空き店舗を活用して、短期間で貸すようなことも考えていっても良いと思います。</u>さんさんギャラリーは、市が借り上げられたが成功事例だと思います。この地点なら、商業地域までにしなくても近隣商業くらいならできるのではないかと思うのですが。</p>
<p>会長</p>	<p>緑が丘に関して言うとナメラと違って家はあるが、空き店舗は少ないです。</p>
<p>委員</p>	<p>神戸電鉄の問題で、通勤・通学が減っています。それを増やせば済む問題かもしれないですね。消費者のいないまちでもものが売れるかという難しい話です。</p>
<p>会長</p>	<p>高齢者だけではいくらお金を持っていてもなかなか買ってもらえないので、やはりバランスがよくなるくらい三木も高齢化率が下がるくらい若い層が増えるといいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>サンロードやナメラにしても鉄道の部分も関連して考えていかないといけないと思います。吉川の方は鉄道がないので仕方がないという状況がありますが、<u>まだ鉄道もあるところでなるべくそれを活かしてまちづくりというかたちで商店街についても考えて行ったらよい</u>と思います。</p>
<p>委員</p>	<p>職人や修行してなにかをするという時代ではありません。職人がいない時代になっています。プロの職人さんがいなくなったら今は、やる気のある主婦の人たちやアマチュアの人たちです。食づくりの会は、40名弱の調理師、お店が集まってしているのですが、名物を作ろうとか、半兵衛・官兵衛で何か作ろうとか考えていますが、もう売り出されていて、早くやったものが勝ち、何でもいいから出したものが勝ちというのがあつてつらいところがあります。ようやくできたが、販売する場所がない。自分の店の運営もありますので。</p> <p>サンロードには、さんかく公園というのがあります。トイレも古くなっていて、バリアフリーでないトイレなので時代に浴いません。さんさん広場もあり、コミュニティ空間としてはいいところです。広場に屋根を付け、いろんなイベント会場にしていきたいと思うのですが。</p> <p>また、都市計画の用途区域を見直してもらえれば、商店街を高層化し、3階4階から住居にして、エレベーターを付ければ、高齢者の人</p>

委員	<p>達は、商店街の人達の目が届いているので、怪我があったらみんなで助け合うことができる。災害や災難があった時は、商店街はすごく安心安全です。それが今、商店街としての役割としても必要なのではと思います。</p> <p>私も商店街は地域の<u>コミュニティ</u>の中心としても<u>交流の場</u>の可能性があるとあります。さんさん広場のような機能もいいかと思えます。是非考えていただきたいと思えます。</p>
委員	<p>メーカーさんとの取引で、県外からのお客さんや商売の人が来られるのですが、たまに三木の包丁が欲しいというのがあり、どこを紹介していいかという時があります。個人では知っている店もありますが、その他のメーカーの包丁というの紹介できません。個人商店で販売するのではなく一同に集めたものが必要です。</p> <p>山田錦でも市内の酒造メーカーのお酒ならすぐ手に入るが、出荷先のもの一同に集めたものがないので、例えばナメラ商店街のアンテナショップに置くことによってお客さんを集め、その波及的にいま閉めている個人商店も潤っていくと思えます。三木市を紹介する場合は、採算というよりはまず行政のバックアップをいただいて広げるというのを先にやっていきたい。いま強みは個々の店にはあるが、繋がっていないので、繋げるようなことしていただくと良いと思えます。</p>
会長	<p>ナメラ商店街での山田錦や金物のお土産というのは、すごくいいと思えます。借りられるお店の選定もあるが、街なかで三木の金物はどこで買ったらいいかと聞かれるが、すぐに答えられないと思えます。一般的な観光地として弱いです。アンテナショップとして売るのも良いのではと思えます。</p>
委員	<p>この審議会でなにを求めるのかというのを具体的に決めて出してもらいたい。例えば<u>商店街の集客を現状の中でどうするか</u>、<u>空き店舗の対策をどう周知するのかな</u>などもう少し滑り込んだかたちでの議論が必要です。商店街の<u>コミュニティの機能をいかに生かすか</u>という問題は大きな課題として考えなければならないと思えます。それから<u>空き店舗に入る創業者をこれからどう育てていくのか</u>。<u>個店の努力をいかに支援していくのか</u>。商店街の歴史をねじ曲げてまでやろうとするのは難しいので、一時的なイベントは可能であると思えます。市民の皆さんがこの商店街を応援したいと思うよう機運を醸成しないと難しい。これには、<u>市民と商店街を結ぶコミュニティ機能が重要</u>になってくると思えます。次回は焦点を絞った議論になるようお願いいたします。</p>
委員	<p>吉川町は高齢化が進み、どのような店を育てていくかという課題もあります。昨年若手経営塾をしたのですが、若い世代15～16人と</p>

会長	<p>話をし、このような世代をつないでいくと新たなものができるのでは と思います。</p> <p>今回、三木市の商店振興についてという内容で、漠然としていまし たので、次回以降ある程度絞ったものに調整していきたい。できれば 次の会議までに現状をもう一度見ていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>どうもありがとうございました。次回の日程ですが9月頃に開催で きたらと思っています。</p>
会長	<p>以上をもちまして、第1回目の協議会を終了します。</p>